※令和３年度以前入学生用

学校番号	3015

令和４年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典Ａ」（東京書籍出版）						
副教材等	イラストとシーンでおぼえる Look＠古文単語 337（京都書房） 新修古典文法二訂版（京都書房） 新修古典文法二訂版ドリル編（京都書房） 大学入試国語頻出問題 1200－四訂版－（いいずな書店） 新国語問題集アシスト（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・今までに学んだ古典文法等、様々な学んだことを活かしながら「読む能力」を向上させるとともに、作者や登場人物の感性、意思や考えを「理解する能力」をしっかりと習得してください。
・特に古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識が必要です。しっかりと身に付けてください。
・口語訳ばかりを暗記するのではなく、授業の後には内容を振り返って復習を大切にして下さい。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・古典本文の逐語訳によって、作者や登場人物の思いや考えを適切に理解することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、小テスト、ワークシート）			記述の確認及び分析（ノート、ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文を読む	教材: 伊勢物語「月やあらぬ」「狩の使ひ」 「小野の雪」 大和物語「安積山」	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付ける。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	古文をより深く読解する	教材: とりかへばや物語 住吉物語 源氏物語 「なにがしの院」 「唐猫の綱」	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことを確認する。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付ける。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
2学期	古文を読解し、入試問題にも取り組む	教材:大鏡 「東三条院と道長」 「鶯宿梅」 増鏡 「新島守」 平家物語 「横笛」 風姿花伝 「秘する花を知ること」 副教材「新国語問題集アシスト」京都書房	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
		教材: 副教材「新国語問題集アシスト」京都書房、	○			◎	○	a:漢文という中国文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことを理解、確認しようとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査

※令和３年度以前入学生用

3学期	入試問題を解く	教材: 「駿台雑話」 「玉勝間」 副教材「新国語問題集アシスト」京都書房等	○			◎	○	a：大学入試問題を積極的に取り組もうとしている。 d：問題文を的確に解釈できている。 e：これまで身につけた知識を用いて、諦めずに解答している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認 e:入試問題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。